

■西松Green Way ～2020年度実績と2021年度の目標～

2016年度から、中期経営計画や「エコ・ファーストの約束」の達成に向けた環境施策全般を「西松Green Way」として一つにまとめ、管理しています。

環境方針	環境目的	目的指標	2020年度		2021年度			
			実績	達成度評価※a	目標			
地球温暖化防止	施工におけるCO ₂ 排出量の削減	施工におけるCO ₂ 削減量	現場CO ₂ 削減量 4,317t-CO ₂ (目標 5,300t-CO ₂ 削減)	×	施工におけるCO ₂ 削減量 2,399t-CO ₂ 削減 (再エネ電力・K-S1・BDF・N-TEMS・太陽光発電の導入による削減量合計) (※参考: 施工における再エネ電力導入率2%)			
		施工におけるCO ₂ 総排出量	75,053.4t-CO ₂ (目標 57,530t-CO ₂)	×	※参考: 59,258t-CO ₂ (2021年度以降、施工におけるCO ₂ 排出量の対象となるエネルギーを、電力、建設機械の軽油、重油、ガソリン、灯油に変更する。)			
	施工以外のCO ₂ 排出量の削減	オフィスにおけるCO ₂ 排出量(t-CO ₂)	1,349.9t-CO ₂ (目標 1,454t-CO ₂)	◎	1,264t-CO ₂ (※参考: 社屋における再エネ電力導入率15%)			
		ZEBに向けた設計技術の確立(オフィスビルの設計段階でのCO ₂ 削減)	・環境シミュレーション技術の研鑽、設計案への展開 ・自社案件におけるZEH-M Oriented取得(慶應字打越計画) ・知見に基づく設計施工案件における環境技術提案 ・ZEB設計技術導入ビルの竣工後省エネ効果計測の実施 (目標: 実務案件における環境設計提案力の強化)	◎	①CASBEE評価における設計段階でのLC CO ₂ 25%削減 ②愛川技研空調改修における要素技術の試行、WELL認証取得			
	2030ネットゼロに向けた取り組み	—	ZERO30ロードマップを策定 (目標: 2030ネットゼロに向けたロードマップの策定)	◎	・ZERO30ロードマップの運用と新たな環境施策の検討・実証・導入 ・国際イニシアティブであるSBT、RE100への参加 ・2050年実質ゼロに向けた方策の検討			
スコープ3の把握	環境省の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」を参考に、自社の事業活動範囲外での間接的CO ₂ 排出量(スコープ3)について把握し、公表する。							
生物多様性保全	工事中の生物多様性保全	生物多様性配慮事項対応現場数	全現場 (目標 全現場)	◎	全現場			
	生物多様性保全に関する意識の高揚	生物多様性保全活動の開催数(現場の活動を除く)	年間3件 ※累計19件 (目標 年間2件以上)	◎	年間2件以上			
循環型社会の構築	廃棄物ゼロエミッション	最終埋立て処分率 ※b <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>最終埋立て処分量(t)</td> <td>2.04%</td> </tr> <tr> <td>建設副産物発生量(t)</td> <td>(目標 2.6%以下)</td> </tr> </table>	最終埋立て処分量(t)	2.04%	建設副産物発生量(t)	(目標 2.6%以下)	◎	2.1%
		最終埋立て処分量(t)	2.04%					
建設副産物発生量(t)	(目標 2.6%以下)							
電子マニフェスト導入率 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>電子マニフェスト経路数</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(目標 100%)</td> </tr> </table>	電子マニフェスト経路数	100%		(目標 100%)	◎	100%の維持		
電子マニフェスト経路数	100%							
	(目標 100%)							
環境教育を推進し、全職員の環境意識の向上と共有を図る(グループ企業を含む)	社員の環境意識・知識の向上	外部環境表彰や認定の年間表彰/認定数	年間7件 ※累計27件 (目標 年間1件以上)	◎	年間1件以上 ※累計28件			
		eco検定合格者数(社員におけるeco検定合格者の割合)	累計2,423人 (85.9%) (目標 累計2,463人)	○	90%			
		環境セミナーの実施回数(全社)	コロナ感染防止の観点から実施できず	—	年1回以上実施			
	環境コンプライアンスのための人材育成	環境講習会の実施	本社: 階層別研修等 支社: 適宜開催の講習会にて、環境コンプライアンスに関する研修を実施	◎	環境コンプラに関する講習を適宜実施(年1回以上)			

※a: ◎達成(100%) / ○ほぼ達成(達成度90%超) / ×未達成

※b: 2017年度までは、建設汚泥、特別管理産業廃棄物、石綿含有建材など特殊なものを除く。

2018年度以降は、建設汚泥を含み、特別管理産業廃棄物、石綿含有建材など特殊なものを除く。